



国土交通省
信濃川河川事務所

記者発表資料

平成29年3月31日

本資料の発表をもって解禁

弥彦村に洪水浸水深さ標識を初設置

～ 大河津分水路の最大規模の洪水を想定したまるごとまちごとハザードマップ ～

弥彦村内では初となる「まるごとまちごとハザードマップ」標識看板を弥彦村役場の入り口をはじめ、弥彦村内の24箇所に設置しました。

この取り組みは、住民が生活する地域の水害の危険性を常日頃から実感できるように、生活空間に想定浸水深を表示するものであり、水害時には命を守るための住民の避難行動に繋がることを期待しています。

なお、この取り組みは「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく信濃川中流及び魚野川流域の減災に係る取組方針の一環として実施しています。

(取組方針の参照URL http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/shinanogawa_info/gensai/index.html)



弥彦村役場入り口に今回設置した標識（赤枠内）

信濃川河川事務所（河川管理者）と弥彦村（自治体）が協働で計画し、公共施設管理者や集落等の皆様にご協力頂き、設置しました。

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ、
長岡市記者会、長岡地域記者会
三条市記者室、十日町市記者クラブ
小出郷新聞、小千谷新聞
越南タイムス、FMゆきぐに
エフエム魚沼、建設業界向け専門紙

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所
広報担当 専門官 小林 正夫(こばやし まさお)
電話：0258-32-3020(内線216)